

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クイック

コード番号 4318 URL <http://919.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和納 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経営戦略室長 (氏名) 平田 安彦

TEL 06-6366-0919

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,526	14.7	645	19.5	748	33.6	448	31.2
24年3月期第3四半期	5,690	16.5	540	144.7	560	129.5	342	42.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 448百万円 (32.3%) 24年3月期第3四半期 339百万円 (43.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24.05	—
24年3月期第3四半期	18.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,315	2,545	58.8	135.52
24年3月期	4,206	2,217	52.5	119.09

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,536百万円 24年3月期 2,208百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	13.7	640	18.4	720	26.1	452	26.6	24.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものではありません。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	19,098,576 株	24年3月期	19,098,576 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	384,080 株	24年3月期	550,979 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	18,662,911 株	24年3月期3Q	18,547,597 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、これらの業績予想と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要を背景として緩やかに景気回復を続けてまいりましたが、海外経済の減速や長引く円高等の影響を受け、企業収益や設備投資、個人消費にも停滞感が見られる等、国内経済は踊り場の局面を迎えております。しかし、12月の衆議院選挙を境に円安・株高傾向へと転じていることから、景気回復への期待は高まってきております。

国内の雇用情勢につきましては、小売業や飲食業における販売職やサービス職のほか、復興需要を支える建築・土木分野や医療分野等、一部の職種に対する採用ニーズは高い水準で推移しました。しかし、企業と求職者の間に生じる職種や地域等のミスマッチも依然として解消されておらず、また、当第3四半期においては有効求人倍率の改善傾向に足踏みがみられる等、雇用情勢全般としては厳しさの残る状況となりました。

このような状況におきまして、リクルーティング事業では、正社員や派遣社員、アルバイト・パート等、中途採用全般におきまして採用広告の取り扱いが引き続き順調に推移いたしました。また、当第3四半期より、平成26年3月卒業予定の大学生を対象とした新卒採用商品の販売がスタートしましたが、こちらにつきましても順調な滑り出しとなりました。

この結果、リクルーティング事業の売上高は1,695百万円（前年同四半期比25.3%増）、営業利益は452百万円（同52.8%増）となりました。

人材サービス事業では、人材紹介事業におきまして、一般企業を対象とした人材紹介、医療機関を対象とした看護師の人材紹介とともに売上高は堅調に推移しました。しかしながら、競合他社のプロモーションや人的投資の拡大により、転職希望者の登録コストが上昇していることから業績が伸び悩んでおります。こうした中、転職希望登録者の満足度向上及び「看護roo!」ブランドのさらなる浸透を目指し、看護師専用の給料情報サイト「ナースな私のお給料」をオープンいたしました。

また、人材派遣・紹介予定派遣・請負事業は、東海地域でのパソコンセットアップ業務をはじめとしたIT周辺業務や家電メーカーの保守・修理関連のスタッフ派遣に加え、年末年始にかけて発生する短期業務等への派遣が好調でした。一方、建築・土木分野の技術者派遣につきましては、復興需要が続く東北地域をはじめ、各地域で企業からの技術者派遣ニーズは高いものの、依然として登録者獲得に苦戦しており、これらのニーズに対応しきれない状況が続いております。

これらの結果、人材サービス事業の売上高は3,171百万円（前年同四半期比15.3%増）、営業利益は472百万円（同11.9%減）となりました。

情報出版事業では、主力商品の生活情報誌において、当第3四半期終盤に降雪等の影響により広告出稿が若干鈍化したものの、全般的には、金沢、富山における採用広告及び住宅広告の出稿ニーズに支えられ順調に推移いたしました。また、住宅情報誌「家づくりナビ」も堅調に推移したほか、忘新年会シーズンに合わせ、金沢にて発行した別冊宴会情報誌「百万石グルメ」及び富山にて発行した「宴会奉行2012-2013」がともに成功を収め、業績は順調に推移いたしました。こうした中、結婚情報誌「結婚賛歌 北陸版」では、より幅広い情報の提供に向け、北陸三県の結婚式場を網羅したウエディングファイル企画を実施し、北陸三県にて発行の結婚情報誌として式場掲載件数NO.1を実現いたしました。

この結果、情報出版事業の売上高は1,237百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益は20百万円（同46.1%増）となりました。

その他におきまして、ネット関連事業では、人事・労務に関する情報ポータルサイト「日本の人事部」が会員数、参画企業の増加に伴い広告収入が順調に拡大いたしました。また、11月に開催した「日本の人事部 HRカンファレンス2012-秋-」も、参加申込総数が10,000名を超える等、人事サービス業界における一大イベントへと成長し、業績に貢献いたしました。こうした中、人材ビジネスの分野で革新的な活動を手掛けた企業等を表彰する、日本の人事部「HRアワード」を創設する等、人事サービス業界全体の活性化に向けた取り組みも進めました。

海外事業では、QUICK USA, INC.において、定期的なイベントや物流業界への派遣実績が徐々に拡大しました。また、人事担当者向けのセミナー開催に加え、当第3四半期より新たに採用代行、人材育成支援サービスの提供を通じて新規顧客開拓に取り組みましたが、主力の人材紹介の実績が伸び悩んだことで、業績は低迷いたしました。

一方、上海クイックマイツ有限公司では、日系企業向けのアドバイザー業務や人事・給与等の制度設計に関する人事労務コンサルティングは底堅く、また、人材紹介も順調に推移いたしました。しかし、尖閣諸島問題に端を発する日中関係悪化の影響が、日系企業の採用スタンスにも及んでおり、業績の先行きは不透明な状況となっております。

これらの結果、その他の売上高は421百万円（前年同四半期比1.7%増）、営業利益は16百万円（同5.0%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,526百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益は645百万円（同19.5%増）、経常利益は748百万円（同33.6%増）、四半期純利益は448百万円（同31.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,315百万円となり、前連結会計年度末と比較して108百万円増加しました。主な要因は、繰延税金資産が減少しましたが、受取手形及び売掛金、投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、1,770百万円となり、前連結会計年度末と比較して219百万円減少しました。主な要因は、買掛金が増加しましたが、賞与引当金、未払法人税等、長期借入金が減少したことなどによるものであります。

純資産合計は2,545百万円となり、前連結会計年度末と比較して327百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上によるものであります。なお、自己資本比率は58.8%と前連結会計年度末と比較して6.3ポイント改善しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきまして、平成24年10月31日付「平成25年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表しております連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の当社グループの状況を勘案し、当該連結業績予想に修正のある場合は、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,820,351	1,783,779
受取手形及び売掛金	860,737	993,118
有価証券	40,603	40,626
繰延税金資産	149,778	67,534
その他	74,881	159,449
貸倒引当金	△919	△1,012
流動資産合計	2,945,433	3,043,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	386,765	371,737
工具、器具及び備品(純額)	12,374	11,727
土地	311,354	311,354
リース資産(純額)	27,234	20,853
有形固定資産合計	737,729	715,672
無形固定資産		
その他	87,009	88,809
無形固定資産合計	87,009	88,809
投資その他の資産		
投資有価証券	162,370	195,128
繰延税金資産	435	434
敷金	232,348	231,961
その他	48,247	45,677
貸倒引当金	△6,740	△5,776
投資その他の資産合計	436,660	467,425
固定資産合計	1,261,399	1,271,907
資産合計	4,206,832	4,315,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	242,443	415,881
短期借入金	289,700	310,000
1年内返済予定の長期借入金	99,984	81,026
未払金	348,712	314,909
未払費用	200,197	224,727
未払法人税等	243,590	107,999
賞与引当金	244,989	102,559
役員賞与引当金	41,200	—
返金引当金	16,600	9,800
その他	116,863	116,279
流動負債合計	1,844,280	1,683,182
固定負債		
長期借入金	92,722	36,692
繰延税金負債	11,013	9,790
資産除去債務	21,495	21,842
その他	19,973	18,556
固定負債合計	145,205	86,881
負債合計	1,989,485	1,770,064
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	351,317	351,317
資本剰余金	271,628	289,666
利益剰余金	1,635,332	1,935,106
自己株式	△33,604	△23,436
株主資本合計	2,224,674	2,552,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,860	8,209
為替換算調整勘定	△24,724	△24,582
その他の包括利益累計額合計	△15,863	△16,372
少数株主持分	8,536	9,059
純資産合計	2,217,346	2,545,339
負債純資産合計	4,206,832	4,315,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	5,690,516	6,526,027
売上原価	2,323,188	2,757,678
売上総利益	3,367,328	3,768,349
販売費及び一般管理費	2,827,218	3,122,819
営業利益	540,109	645,529
営業外収益		
受取利息	390	470
受取配当金	3,070	4,257
受取販売協力金	9,652	90,669
書籍販売手数料	2,415	3,936
助成金収入	5,369	2,687
その他	7,622	7,118
営業外収益合計	28,520	109,140
営業外費用		
支払利息	7,615	5,251
貸倒引当金繰入額	50	—
その他	410	467
営業外費用合計	8,076	5,719
経常利益	560,553	748,951
特別損失		
投資有価証券売却損	—	403
事務所移転費用	4,268	—
特別損失合計	4,268	403
税金等調整前四半期純利益	556,284	748,547
法人税、住民税及び事業税	160,579	217,827
法人税等調整額	53,259	81,386
法人税等合計	213,839	299,214
少数株主損益調整前四半期純利益	342,445	449,333
少数株主利益	249	511
四半期純利益	342,196	448,821



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	342,445	449,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	△651
為替換算調整勘定	△3,236	153
その他の包括利益合計	△3,124	△498
四半期包括利益	339,321	448,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	339,255	448,312
少数株主に係る四半期包括利益	65	523

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リクルー ティング	人材サー ビス	情報出版	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,353,508	2,751,099	1,171,875	5,276,482	414,034	5,690,516	—	5,690,516
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,200	110	11,168	12,478	13,002	25,481	△25,481	—
計	1,354,708	2,751,209	1,183,043	5,288,961	427,037	5,715,998	△25,481	5,690,516
セグメント利益	296,298	535,930	14,204	846,433	16,132	862,566	△322,457	540,109

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネット関連事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△322,457千円には、セグメント間取引消去50,887千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△373,344千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リクルー ティング	人材サー ビス	情報出版	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,695,658	3,171,536	1,237,598	6,104,792	421,234	6,526,027	—	6,526,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,590	81	10,268	12,939	19,189	32,128	△32,128	—
計	1,698,248	3,171,617	1,247,866	6,117,731	440,424	6,558,156	△32,128	6,526,027
セグメント利益	452,796	472,341	20,746	945,884	16,940	962,825	△317,295	645,529

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネット関連事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△317,295千円には、セグメント間取引消去93,336千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△410,632千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。